

科目名	公衆衛生看護学概論 Principles of Public Health		担当教員 (研究室番号)	清水真由美 (407)	教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修年次	2年次前期	科目区分	専門科目・広域看護学	選択区分	必修	単位数 (時間)	1(15)	授業形態	講義	科目等履修生	否
										オープンクラス	否
科目目的	公衆衛生看護の理念、意義、対象、構成する領域、役割について学ぶ。また、公衆衛生看護活動の基盤となる理論および様々な環境下で日常生活を営む人々の健康生活を支える看護のあり方を追求する方法を理解する。										
ディプロマ・ポリシー (DP)	主要なDP	B 人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。(知識・理解)									
	関連するDP	A 人々の生命・尊厳・権利を尊重し、看護専門職者としての倫理観に基づいて行動することができる。 (姿勢・態度) C 多様な考え方や文化的背景を持つ人々の特徴に応じて、自らの看護活動の必要性や方法を説明するためのコミュニケーション能力を有している。(技能・表現)									
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保健師活動のイメージを持つことができる。 2. 公衆衛生看護の理念や目的が理解できる。 3. 公衆衛生看護活動の基本となる概念を理解することができる。 4. 公衆衛生看護活動の展開方法および関連する法令の一部について理解することができる。 										
成績評価方法 (基準)	試験 (85%)、課題 (15%)。授業の2/3の出席をもって評価の対象とする。遅刻3回をもって欠席1回とみなす。なお、課題において剽窃等が認められた場合は、評価の対象としない。										
再試験の有無と基準等	科目の合否結果で不合格となった学生には、当該学生からの申請があれば再試験を実施する。再試験は筆記試験とし、それまでのレポート課題や出席状況は再試験に加味しない。										
教科書	標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論 医学書院										
参考書等	適宜紹介する										
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待	これまで保健師に出会ったことはありますか？保健師は、地域の人々の健康を支え、健康的な暮らしを守る専門職です。概論では、保健師に求められる基本的な知識と技術を学びます。コメントに書かれた質問や意見に関しては、次の講義の際に共有します。講義で関心を持ったことや疑問に思ったことは、自ら学びを深めてください。										
備考	公衆衛生看護方法Ⅰの先修条件となっている。										
回	学習項目			学習内容				主担当教員	授業方法		
1回	公衆衛生看護の理念・目的・特徴			オリエンテーション (公衆衛生の学習体系と学習概要) 公衆衛生看護の理念・目的・特徴について学ぶ。				清水	講義		
2回	公衆衛生看護の歴史の変遷・基本概念			公衆衛生看護の歴史の変遷および公衆衛生看護を学ぶ上で理解が必要な基本となる概念 (健康、プライマリーヘルスケア、ヘルスプロモーション) について学ぶ。				清水	講義		
3回	保健医療福祉における施策化と事業化①			三重県における保健計画の位置づけや保健計画策定 (住民参加・住民のニーズに沿った行政計画) のプロセスを理解するとともに、県・保健所の保健師の活動と役割について学ぶ。				学内協力者/ 清水	講義		
4回	保健医療福祉における事業化と施策化②			事業化・施策化の目的と過程を学ぶ。				清水	講義/ 演習		
5回	公衆衛生看護の場・対象			公衆衛生看護の実践の場について学ぶ。公衆衛生看護の対象 (個人、家族、集団、組織、地域) の特徴について学ぶ。				清水	講義		
6回	公衆衛生看護活動の展開の基盤			公衆衛生看護活動の基本的な理論と展開方法を学ぶ。				清水	講義		
7回	公衆衛生看護活動の展開の場と方法			公衆衛生看護活動の展開における予防の概念、ハイリスクアプローチ・ポピュレーションアプローチ、地域診断の意義や方法について理解できる。				清水	講義		
8回	公衆衛生看護管理			公衆衛生看護管理の目的・構造・機能 (事例管理、情報管理、健康危機管理など) について学ぶ。				清水	講義		

学 習 課 題

課題

- ・事業計画を個人で作成する (配点7点)
- ・グループで事業計画を作成する (配点8点)

学習項目・内容については、教科書の該当箇所を読み、予習・復習しておくこと。

実務経験を活かした教育の取組

・担当教員は、看護職として実務経験がある。看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義及び演習を行う。